

第4回

社会全体で共有する緊急度判定(トリアージ)体系のあり方検討会

実証検証について

平成24年3月14日

消 防 庁

# 実証検証について

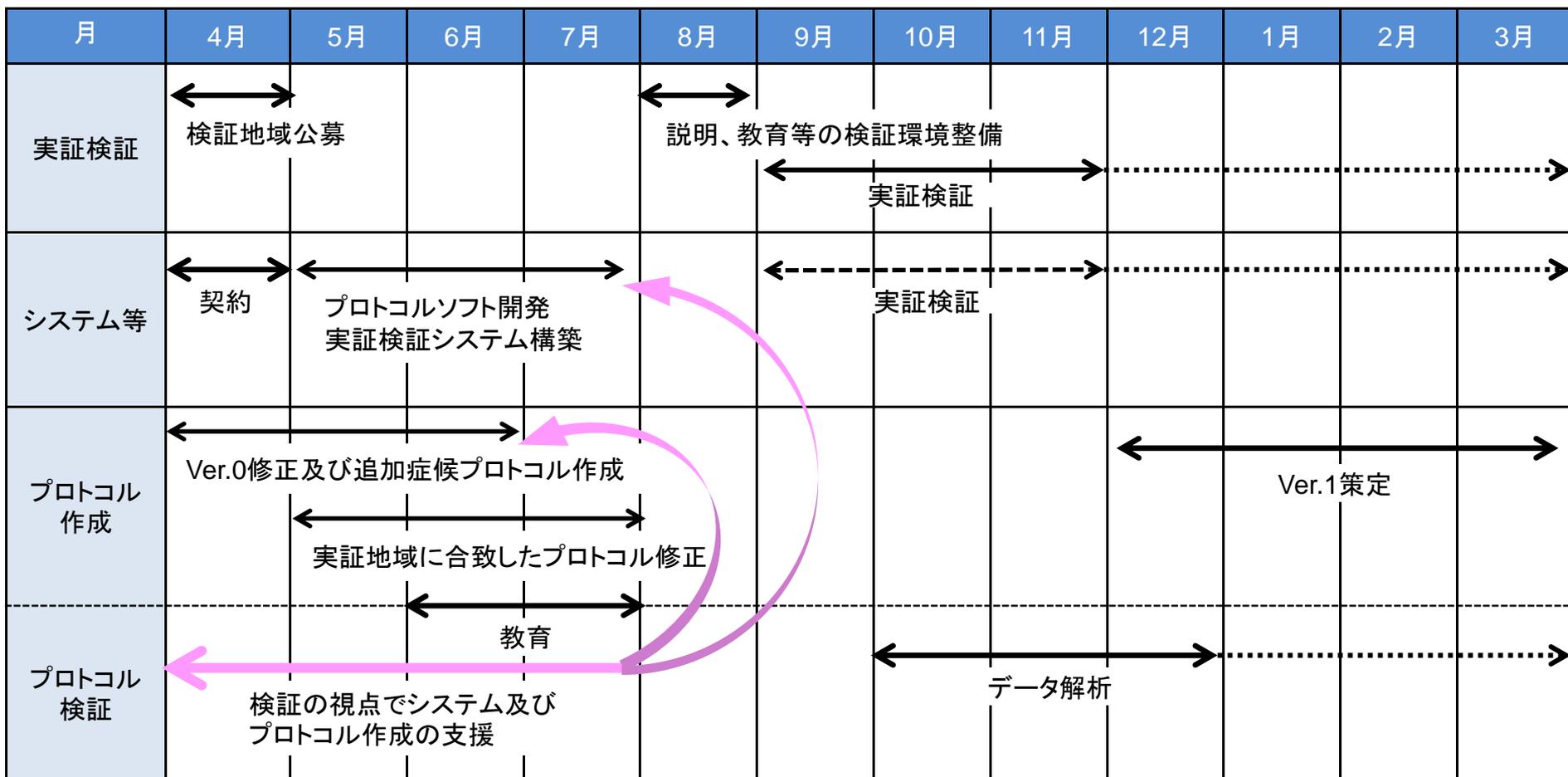
【目的】 緊急度判定プロトコル(Ver.0)をもとに、実証検証を行い、救命率の向上のため、緊急性の高い傷病者に早急に救急医療が提供できる搬送体制の構築等の実現を目指す。

## 【実証検証対象地域】

- ・ 公募方式により対象地域を決定(平成24年4月)
- ・ 対象地域の条件(案)
  1. 「家庭自己判断」、「電話相談」、「119番通報」、「現場搬送」の全て、もしくはいずれかの段階について参加できること。
  2. 実証検証を行うために、あらかじめ関係機関の参加の意思が確認されていること。
  3. 緊急度判定プロトコルの導入と運用の課題を明らかにするため、消防庁が求める資料等を提供できること。

※報告書(案)〇〇頁参照

# 平成24年度スケジュール(案)



全国の消防本部で使用可能な緊急度判定システムを構築